

平成20年第2回大仙市議会定例会

市 政 報 告

平成20年6月9日
大仙市長 栗林次美

本日、平成20年第2回大仙市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。

今次定例会でご審議をお願いいたします案件は、専決処分報告2件、条例案19件、単行案3件、補正予算3件の合計27件のほか、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任及び人権擁護委員の候補者の推薦に関する人事案件について、準備が整い次第、追加提案する予定であります。

各案件につきまして、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

なお、この場をお借りいたしまして、本年度の各部局ごとの主要事業の進捗状況並びに諸般の状況をご報告いたしたいと存じますが、その前に、大曲社会保険健康センター「ペアーレ大曲」及び西仙北地域のユメリアとインターチェンジについてご報告いたします。

はじめに、「ペアーレ大曲」について申し上げます。

平成17年10月1日、厚生年金保険法及び国民年金法等により整備された年金福祉施設等の整理合理化を進めるため、独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構、通称RFO施設機構が、平成22年9月30日までの期限付きで設置され、現在、施設の一般入札による譲渡作業を進めております。

大曲地域に平成11年4月に設置された大曲社会保険健康センター「ペアーレ大曲」について、先般、RFO施設機構の担当職員が本市を訪れ、本年10月を目処に、売却のための一般競争入札を実施したい旨の説明と、入札への参加の有無について問い合わせがあったところであります。

「ペアーレ大曲」は、旧大曲市が中心市街地の核施設として誘致したもので、利用者が平成19年度実績で延べ7万2,449人と、市内外の多くの方々が利用している施設であることから、市といたしましては、本施設の取得を前提に入札に参加したいと考えております。

RFO施設機構からは、年金福祉施設等を譲渡・廃止し、年金の財政運営に資することを目的に実施するものであり、入札に当たって市町村が有利になるような条件を付加することはできないとの説明を受けております。

入札への参加については、7月上旬に予定されているRFO施設機構の公告の最低売却価格を見て決定することになりますが、入札参加を前提に作業を

進めさせていただくとともに、本件に係る予算につきましては、第3回市議会定例会に計上させていただきたいと考えておりますので、議員各位のご理解を賜りたいと存じます。

次に、西仙北地域のユメリア及びインターチェンジについてであります。

ユメリアにつきましては、毎年赤字経営が続いているため、現在運営している第三セクターでの経営は困難であると、同社の取締役会、株主総会で判断され、先般、同社から市に対して指定管理者協定締結解除の申し出があったところであります。

市といたしましては、ユメリアは多額の費用が投じられた施設でもあり、また、年間10万人前後が利用する温泉宿泊施設であることから、今後とも維持していくべき施設であるとの判断のもと、新たな指定管理者となる経営者を、全国から募集することにしたいと考えております。

なお、新たな指定管理者が決定するまでは、現在の西仙北温泉インター株式会社運営を委託してまいりたいと存じます。

また、西仙北インターチェンジにつきましては、ETC化への対応が喫緊の課題となっており、その早期実現を図るため、市議会と一緒に、県をはじめ国土交通省や東日本高速道路株式会社、さらには、県選出国會議員に対し、積極的な要請活動を行ってまいりたいと考えております。

それでは、各部局ごとの主要事業の進捗状況等についてご報告させていただきます。

はじめに、企画部関係について申し上げます。

ふるさと納税制度につきましては、新しい寄附金の税制度であります。寄附金の有効活用を図るため「大仙市ふるさと応援基金」を設置することとし、今次定例会で条例案のご審議をお願いしております。

多くの方々から寄附をしていただけるよう、市の広報やホームページなどによるPRのほか、大仙市首都圏ふるさと懇話会に協力をお願いするとともに、各地域のふるさと会へも積極的に働きかけてまいります。

中心市街地活性化基本計画策定につきましては、計画策定時に意見をいただく「中心市街地活性化協議会」の設立に向けての準備作業を、関係機関とともに

に進めているところであります。

小規模集落コミュニティ対策につきましては、市内の全町内、集落を対象としたアンケート調査及び高齢化率が高く20戸以下の小規模集落を対象とした戸別アンケート調査を、6月中に実施するため準備を進めております。

国道13号、46号及び106号の周辺8市町村で構成する秋田・岩手地域連携軸推進協議会の総会が、去る5月23日、本市で開催され、大規模災害時に物資の提供や職員派遣を行うとした「大規模災害時における秋田・岩手横軸連携相互援助に関する協定」の締結式が行われたところであります。

「広報だいせん」につきましては、秋田県広報コンクールで第一位となり、日本広報協会が主催する平成20年全国広報コンクールに参加していましたが、先般、広報紙部門、市の部において4席に入賞いたしました。今後とも「市民に親しまれ、愛されるまちの応援団」としての広報紙づくりを目指してまいりたいと存じます。

国際交流につきましては、本市の中学生8名と引率3名を、8月7日から11日までの5日間の日程で、大韓民国の唐津郡^{たんじんぐん}へ派遣し、交流事業を行うこととしております。経費につきましては、本市と唐津郡^{たんじんぐん}の双方で負担するものであり、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

次に、市民生活部関係についてであります。

交通安全対策につきましては、「春の全国交通安全運動」期間中に、交通指導隊、関係機関・団体との連携のもとに、早朝や夜間における巡回指導パトロールをはじめ、街頭キャンペーン、保育園での交通安全教室などを実施し、併せて6月1日から自動車の後部座席のシートベルト着用が義務化されたことから、昨年から重点的に取り組んでいる「チャイルドシート着用・使用推進キャンペーン」とともに、後部座席のシートベルト着用の啓発活動を実施しております。

防犯活動につきましては、青色回転灯装着車^{あおいろ}によるパトロールを一層強化するため、大仙警察署の協力のもと、5月9日と15日に講習会を開催し、新たに市職員79名が秋田県警察本部長から実施者証の交付を受け、被交付者は県内市町村トップの218名となり、パトロール車両を増加するとともに、

巡回エリアを拡大いたしました。

消防につきましては、4月6日から12日までの春の火災予防運動週間に、各支団において、防災訓練や駆け付け訓練を、また、6月8日に水防技術の一層の向上と体制の強化を図るための水防講習会を、雄物川河川敷で実施しております。この後、6月29日と7月5日、6日に8地域において消防訓練大会、7月19日には郡市消防訓練大会が、雄物川河川敷で開催される予定であります。

また、消防団員確保対策として、入団しやすい環境を整えていただくため、県内では初めての「消防団協力事業所表示制度」を設け、4月11日に市内の34事業所に消防庁規格の表示証を交付しております。今後は、女性消防団員の入団も視野に入れた団員確保に努めてまいります。

防災につきましては、水位や気象情報の伝達を行う「災害情報メール」の運用を始めております。また、4月7日に神奈川県座間市との「第3回災害対策連絡会議」を本市で開催し、両市における災害対応の情報交換や緊急連絡体制などについて広く意見を交わしたところであります。

国民健康保険事業の平成19年度決算見込みにつきましては、実質収支では6,516万5千円の黒字ではありますが、平成18年度の繰越金7,610万5千円及び財政調整基金2億8,754万7千円を投入していることから、実質単年度収支では、2億9,848万7千円の赤字決算となる見込みであります。

本年度の国民健康保険税は、国保加入者の高齢化が進むにつれ、医療費が増大し、税率の引き上げが避けられない状況でありました。

しかし、平成17年の合併以来、財政調整基金を繰り入れしてもなお税率をアップせざるを得ない状況が3年続き、諸物価の上昇と農業収入の減少、また、定率減税の廃止などにより、市民の負担感は限界に近いものになっていると思っております。

このため、本年度は財政調整基金及び前年度繰越金の全額に加えて、緊急避難的な措置として一般会計からの繰り入れを行い、税率を据え置くことといたしました。

税率については、これまでの医療分、介護分の2本建ての課税方式から、後期高齢者支援分が加わり3本建ての課税方式に変更となり、医療分については、所得割を8%とし、均等割を16,800円、平等割を26,400円に、新設された後期高齢者支援分については所得割を2%とし、均等割を4,200円、平等割を6,600円としておりますが、医療分、介護分ともに据え置くことにしたいと存じます。

今後の国民健康保険事業につきましては、市民のみなさまから国保財政が極めて深刻で危機的な状況にあることを十分理解していただくよう努めるとともに、来年度に向けて大仙市全体の事業調整も視野に入れ、国保事業を安定化するための体制とルールづくりを早急に行うこととしております。

家庭ごみの有料化につきましては、これまで実施した説明会等により周知を図ってきたことから、4月に、大きな混乱もなくスタートしたところであります。

また、ごみ袋証紙指定販売店の登録状況は、現在、244店舗で、市内で流通している有料ごみ袋は可燃、不燃合わせて100万枚以上となっております。

子育て支援等の観点から導入したごみ袋の手数料免除申請状況につきましては、乳幼児に係る申請が337件、要介護に係る申請が316件となっております。

ごみの不法投棄対策につきましては、4月から、巡回パトロールを月1回から3回に強化するとともに、一斉清掃デーの4月20日には、広報車による不法投棄防止キャンペーンを実施しております。また、山間部等へのごみ投棄を防ぐため、市単独の監視カメラ1基と県から貸与された1基を効果的に設置することとしております。

再資源化の推進としては、食品トレイを回収するための拠点カ所を、市内30カ所に拡大したところであります。

新最終処分場につきましては、4月から順調に運営しており、施設周囲の植栽工事等については、7月の完成を目処に進められております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉及び児童福祉の計画策定のため設置され

ておりました「福祉関係計画審議委員会」の第1回目の会議を、去る5月29日に開催しております。本審議委員会には、個別計画に係る4つの部会を設置し、それぞれの部会での検討をお願いし、年内にはそれぞれの計画について答申をいただく予定となっております。

子育て支援につきましては、西仙北地域の旧寺館保育園を活用した「地域ふれあいセンター」を7月に開設することとし、地元寺館部落会を指定管理者とする選定案のご審議を、今次定例会でお願いしております。

保育環境の整備につきましては、大曲中央保育園において、3歳未満児を保育するための改修工事が5月に完了し、6月から保育が開始されております。

社会福祉施設等の法人化につきましては、4月から、大仙ふくし会が特別養護老人ホーム1施設、大空大仙が保育所4施設、大曲保育会においては幼稚園2施設、合わせて7施設をそれぞれの社会福祉法人が引き受け、順調に運営されております。

自殺予防対策につきましては、医師会、薬剤師会など関係機関19名の方々へ委嘱し、「大仙市自殺予防ネットワーク推進協議会」を設置し、去る5月23日に第1回目の会議を開催しております。

新聞報道にもありますように、秋田県は平成7年から13年連続で自殺率日本一という残念な記録が続いておりますので、協議会では各分野ごとの役割分担を行いながら、相互の連携を図った心の健康づくりを展開してまいります。

また、9月中旬に、自殺予防週間街頭キャンペーンを行い、11月には市民を対象とした自殺予防推進フォーラムの開催など、啓発活動を行ってまいります。

本年度から本庁大曲庁舎、西仙北庁舎、中仙庁舎の3カ所に設置しております地域包括支援センターにつきましては、社会福祉士など専門の資格を有する職員を配置し、高齢者に対する包括的、継続的なマネジメントを行っております。

次に、農林商工部関係についてであります。

水田の春作業につきましては、天候に恵まれたことから順調に進み、耕起作業は5月5日で終了し、田植え作業は5月27日には終期となっております。

また、^{じかまき}直播栽培の^{はしゅ}播種作業は、5月11日から始まり、^{じかまき}平年並みの5月19日に終了しております。

米の生産調整につきましては、20年産米の需要量に関する情報によりますと、前年より3,751t少ない7万640t、117万7,000俵余りで、5月末までに生産調整実施計画を取りまとめ、6月中旬から全市一斉に転作現地確認事務に入ることとしております。

また、国の19年度補正で予算措置された生産調整の拡大に伴う地域水田農業活性化緊急対策につきましては、2,200人の農業者の方々が、面積で648ha、緊急一時金として3億2,300万円の契約を結んでおります。

本年3月末の認定農業者は1,471経営体、農業法人は34経営体、集落営農組織は68経営体となっております。

2年目となる「農地・水・環境保全向上対策」につきましては、新規の組織を加え123の組織において、4月から順調に活動が始まっております。

市営放牧場の利用状況につきましては、昨年度同様、大曲、神岡、西仙北及び協和地域の4カ所において、市外からの17頭を含め、現在、和牛141頭、乳牛14頭の合計155頭を放牧しております。

6月15日に北秋田市の県立「北欧の杜公園」において開催されます第59回全国植樹祭には、本市から178名の市民の参加が予定されております。

本年3月卒業の高校生の就職状況につきましては、ハローワーク大曲管内で、就職希望者388人に対し、4月末現在での就職者は384人で、99.0%の就職率となっております。このうち県内就職者は262人で全就職者の68.2%となっており、県内就職率は昨年と比べ若干低くなっておりますが、県内就職者数では昨年より23人多くなっております。

雇用促進を図るため仙北地域振興局、ハローワーク大曲及び本市の三者合同で、5月26日から市内の企業を訪問し、市の雇用助成制度の紹介と併せて新規雇用に向けた働きかけを行っております。

市内5つの商工会が去る4月1日に「大仙市商工会」として発足し、合併により組織・財政基盤の強化とスケールメリットを生かした事業展開が期待されており、今後は、同商工会を含めた市内2つの商工団体と市との連携を深めてまいりたいと考えております。

工業振興につきましては、神岡地域に県の大規模な新規工業団地の実現を図るため、去る4月11日、神岡農村環境改善センターにおいて、県の担当者から出席いただき地元説明会を開催し、地域の方々約70名の参加をいただきました。また、4月14日には、県知事に面会し、市と市議会連名による工業団地の実現のための要望書を提出しております。

新規の企業誘致につきましては、首都圏で製造業を営む本市出身者の事業所を対象とした「秋田県大仙市首都圏企業懇話会」を開催し、情報交換によって企業誘致あるいは企業訪問の糸口にしたいと考えており、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

次に、建設部関係についてであります。

道路整備につきましては、道路特定財源の暫定税率失効により、すべての事業について4月中は発注を見合わせましたが、暫定税率復活後本年度の財源に目処がつきましたので、事業の遂行に支障のないように発注を進めているところであります。

市単独事業の新設及び改良事業については、62路線のうち10路線について発注済みであり、今後、順次発注する予定であります。

また、地方道路交付金事業4路線及び地方特定道路整備事業1路線につきましても、設計業務が完了次第、発注する予定であります。

大曲駅前第二地区土地区画整理事業の建物移転につきましては、中通町及び大花町地区の移転対象物件の各権利者と交渉中であり、交渉が整い次第、区画道路工事や宅地造成に着手してまいります。工事関係については、引き続き中通こ道橋新設工事を実施中でありあります。

都市再生住宅の建設につきましては、5月末までに2階部分までの建築工事が完了しております。

まちづくり交付金事業につきましては、大曲駅周辺地区において、しあわせ公園の設計業務を6月中旬に、地域交流センターの設計業務を7月中旬に、それぞれ発注の予定であります。また、駅裏6号線道路改良工事につきましても、7月下旬に発注する予定であります。

神岡地域の駅前交流広場整備工事及び幼保一体施設外構工事につきまして

は、5月下旬に発注済みであり、^{えききた}駅北線改良工事は6月中旬に、中央公園整備工事は7月中旬に、それぞれ発注の予定であります。

中仙地域の旧街道周辺地区においては、^{ふつかまちいしもち}二日町石持線及び^{しんざん}新山5号線の舗装工事の発注に向けて、準備を進めております。

協和地域の羽後境駅周辺地区においては、^{えきひがし}駅東線の用地買収につき契約の締結を終え、所有権移転登記の作業を進めております。

地域住宅交付金事業の対象である福見町市営住宅の火災報知器設置工事及び西仙北地域北ノ沢地区の市営住宅建築工事並びに同敷地内構内道路等工事につきましては、7月中の県の交付決定を待って、工事発注の準備を進めております。

南外ふれあいパークのグラウンド・ゴルフ場駐車場整備工事及びトイレ設置工事につきましては、早期の完成をめざし、設計業務を進めております。

公共下水道事業につきましては、継続事業であります4地域の整備を順次発注の予定であります。なお、平成19年度末の公共下水道事業の整備済み面積は1,222haで、整備率51.0%、污水管渠延長215km、普及率は31.9%であり、水洗化戸数は6,983戸、水洗化率は62.9%となっております。

農業集落排水事業につきましては、本年度新規採択の角間川地区を含め5地区で計画されており、中仙地域田ノ尻地区においては中継ポンプ8カ所を発注済みであります。

次に、国、県関係工事についてであります。

国道13号関連の大曲バイパス4車線化事業につきましては、現玉川橋歩道設置工事が9月中に、旧玉川橋撤去工事は平成21年度にそれぞれ完了の予定で、神宮寺バイパス事業につきましては、都市計画道路大坪線までの1.9km区間について、平成22年度の供用開始に向けての整備を、また、協和峰吉川地区については、^{なだれ}雪崩防止柵の整備を、それぞれ行う予定と伺っております。

雄物川の大曲橋上流右岸の堤防につきましては、堤防の質的整備工事を本年度から着手する予定に、また、中流部緊急対策特定区間につきましては、用地

補償を継続する予定と伺っております。

^{つちかがわ}土買川築堤事業に伴う^{すいしゃくぼし}水尺橋架け替え工事につきましては、10月末に完了の予定と伺っております。

大曲橋架け替え事業につきましては、橋脚2基の工事と用地買収及び建物補償を継続して行う予定と伺っております。

国道105号四ツ屋地区道路改築事業につきましては、県道国見・大曲線の交差点までの約1.5km間^{かん}を年次計画で事業を行うこととし、本年度は延長520mについて用地測量、用地買収及び建物補償を行う予定と伺っております。

主要地方道湯沢・雄物川・大曲線の角間川工区事業につきましては、建物補償を行い、平成21年度に完了の予定と伺っております。

西仙北地域の主要地方道本荘・西仙北・角館線道路改築事業につきましては、本年度用地買収を行い平成21年度までに、また、県道土川・中仙線道路改築事業につきましては、改良舗装を行い本年度中に、それぞれ完了の予定と伺っております。

中仙地域の主要地方道大曲・田沢湖線道路整備事業の歩道設置工事につきましては、7月末に完了の予定と伺っております。

^{たいせつ}堆雪帯の確保及び歩道設置工事につきましては、南外地域の主要地方道神岡・南外・東由利線道路改築事業が、本年度用地補償を行い平成22年度までに、また、太田地域の主要地方道角館・六郷線道路改築事業については、本年度改良舗装を行い平成21年度までに、それぞれ完了の予定と伺っております。

次に、水道局関係についてであります。

上水道事業につきましては、配水管移設工事として大曲駅前第二地区土地区画整理事業に伴う工事延長50m、業務委託として昨年度に引き続き大曲地域の^{たいせつ}大曲、花館、四ツ屋、藤木、角間川地区及び仙北地域の高梨、橋本地区を対象に12,606戸の漏水調査を、また、平成19年度に施工した配水管延長13,140m並びに給水の申し込みがありました379件の給配水管台帳図補正業務を、それぞれ5月下旬に発注済みであります。

簡易水道事業につきましては、工事請負費に継続費を設定しております西仙

北地域の^{たてや}大沢郷地区簡易水道施設整備事業について、浄水施設管理棟建屋工事、第一配水池築造工事及び配水管布設工事に着手しております。

同じく西仙北地域の刈和野地区、中仙地域の^{いりすみ}入角地区及び仙北地域の戸地谷地区簡易水道施設整備事業につきましては、現在、それぞれの実施設計業務を行っており、今後、順次工事を発注していく予定であります。

次に、教育委員会関係についてであります。

4月に誕生した協和小学校の児童につきましては、バス通学等において協和中学校生徒や保護者・教職員、地域の方々の手厚いサポートにより、安全に登下校しているところであります。

「こころふれあうさわやか大仙事業」としての、中学生サミットが5月14日に開かれ、本年度は、住民へのあいさつ運動としての「おはようプロジェクト」を継続するとともに、^{リ サ イ ク ル} ^{エ コ} ^{ボ ラ ン テ ィ ア} Recycle Eco Volunteer の頭文字をとった「REVO^レプロジェクト」を展開することとし、水資源の有効活用をテーマに実践することになりました。

国の教育振興基本計画や新学習指導要領への移行を踏まえ、すべての子どもが自立して社会で生きていく基礎を育てるため、教育の質を高め、信頼を確立する学校づくりを支援する教育行政の体制の整備・充実に、引き続き努めてまいります。

かみおか幼稚園保育園一体型施設建設事業につきましては、外構工事について6月2日に発注し、10月末にはすべての工事が完了の見込みです。

生涯学習の推進につきましては、本年度から3カ年間にわたる新たな国の委託事業として、地域教育力の再生を目的に、学校と地域との連携を図りながら学校を支援していく「学校支援地域本部事業」を、本年度は神宮寺小学校区と協和小学校区を対象に推進するため、事業採択に向けて作業を進めております。

また、社会教育施設で開催する各種講座、教室、スポーツ、サークル活動等を紹介する「2008・大仙市生涯学習ガイド」を発行し、年間を通じた生涯学習情報の提供に努めてまいります。

各地域で開催する出前民謡「ふるさと民謡めぐり」につきましては、去る

5月10日に大曲公演を市民会館を会場に開催し、10月以降は、各地域で順次開催してまいります。

文化財保護につきましては、池田家より寄贈いただいた国指定名勝池田氏庭園と構造物の保存整備を進めております。このうち、3年目となります洋館修復工事は、躯体補強が完了し、本年度は外壁タイルの補修や金唐革紙きんからかわかみの復元等を行うこととしております。

また、池田家の弘田の分家庭園が、5月16日に国の名勝追加指定として、文化庁の文化審議会から文部科学大臣に答申されております。今後は、本家庭園と併せて保存・整備を進めてまいりたいと考えております。

なお、本年度の池田氏庭園特別公開は6月14日、15日と11月8日、9日を予定しております。

市指定文化財につきましては、佐竹藩主に差し上げる水を汲み上げたとされる大曲地域の「御前井」ごぜんいを、合併後初の市指定文化財に指定しております。

市民のみなさまから文化財への関心を高めていただくため、4月29日から5月6日まで、中仙市民会館ドンパルにおいて、大仙市美術愛好会が主催し開催された鈴木空如画伯くうによの「法隆寺金堂壁画模写」こんどうの公開を後援し、好評を博したところであります。

スポーツ振興につきましては、スポーツ・レクリエーションの推進の指針となるべきスポーツ振興計画を策定することとしております。今後は、各関係機関はじめ一般公募の委員を含めた策定委員会を組織し、意向調査等により広く市民の声を反映させた振興計画を、12月までに策定することとしております。

全国高等学校総合体育大会につきましては、これまで各県単独の持ち回りで開催されておりましたが、2巡目となる平成23年度からは、ブロック単位での開催が決定となり、北東北ブロック3県での開催となったところであります。

本県では10競技を開催する方向で検討されており、そのうち、昨年の秋田わか杉国体で総合優勝を飾ったなぎなた競技の本市開催について、先般、県と関係団体から打診を受けたところであり、開催受託の方向で検討してまいりたいと考えております。

総合図書館事業につきましては、4月から市内7館の開館日数と開館時間を統一、拡大するとともに、引き続き利便性の向上を図るため、平成21年度に

は、さらに開館日を増やす方向で検討いたしております。

次に、平成19年度の一般会計、特別会計及び企業会計の決算状況につきまして、その概況を申し上げます。

一般会計は、実質収支で約8億3,700万円の黒字決算となる見込みであります。これは、歳出における一般経費の節減に努めたことが主な要因であります。除雪経費が掛かり増しになったことなどから、昨年度に比べ5億4,300万円ほど黒字幅が縮小する見込みであります。

実質収支は黒字であります。前年度からの繰越金及び財政調整基金繰入金を控除した実質単年度収支では、赤字の見込みであります。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計の事業勘定については、実質収支で約6,500万円の黒字決算となる見込みであります。財政調整基金の取り崩しと前年度からの繰越金を控除した実質単年度収支では、約2億9,800万円と大幅な赤字の見込みであります。そのほかの特別会計の実質収支は、国民健康保険事業特別会計の診療所勘定、学校給食事業特別会計、簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、特定環境保全公共下水道事業特別会計、特定地域生活排水処理事業特別会計、農業集落排水事業特別会計及び大沢郷財産区を除く各財産区特別会計で黒字決算となっております。

老人保健特別会計は、医療費国庫負担金及び県負担金が予算額どおり交付されなかったことから4,917万8千円の赤字決算となりましたので、平成20年度の歳入を繰り上げて充用することとし、5月30日付けで専決処分をさせていただきましたので、ご了承いただきますようお願いいたします。

なお、歳入不足となった国庫負担金及び県負担金については、平成20年度において、全額交付されることとなっております。

そのほかの特別会計の実質収支は、ゼロとなっております。

また、企業会計の決算状況では、水道事業会計が収益的収支において1億700万円の純利益があり、病院事業会計の収益的収支は、900万円の黒字決算となっております。

以上、主要事業の進捗状況並びに諸般の状況をご報告申し上げますが、大仙市の将来都市像である「人が生き 人が集う 夢のある田園交流都市」の

創造に向けて、なお一層努力してまいりたいと存じますので、市民並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、招集のあいさつと諸般の報告とさせていただきます。